働者ニハ貧弱ナガラモ保護法規ガ制定サレアルニ比シテ、海員ニハ未ダ一個完全ナル保護法規ガ制定サレテヰナイ。只ダ僅カニ、商法第五百七十八條ニヨツテ消極的ニ規定サレテハヰルガ、一方第七十二條第一項ノ如ク多少ナル罰則ガアル。吾等ハ海員トシテ生クル前ニ先ヅ人間トシテ完全ニ生キナケレバナラヌ。然ルニ現行法ハ吾等ガ人間トシテ生クルコトヲ極度ニ妨ゲテヰル。斯ノ如キ産業發展ニ重大ナル影響アル悪法規ヲ存續セシムルハ不可デアルト提案ノ理由ヲ説明シ賛成ヲ求メ、滿場一致ヲ以テ左ノ如ク決議ス。

決議

現行ノ船員法其他ノ海員諸法規ハ其ノ立案當時ノ事情及思想ガ、今日ノソレト甚シキ径庭アルコト又實際ニカカル法規ニヨリ取締ラルルガ爲メニ、屢々海上勞働者ノ人間的及社會的權利

財團法人協調會大阪支所